

3年	国語	4月	単元名『詩を楽しもう どきん』	1 / 1
ねらい	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。			
活用場面	展開段階で他の擬音語や擬態語を探す場面で			
活用の仕方	「どきん」に掲載されている他の詩の中で使われている擬音語や擬態語を読み味わうことで、詩のイメージを捉えさせる際に使う。			
参考図書	谷川俊太郎少年詩集 どきん (谷川俊太郎 理論社 5846)			
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○ 発展型
				表現型

3年	国語	4月	単元名『きつつきの商売』	全 / 9
ねらい	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。登場人物のしたことや言ったことから、気持ちを考え伝え合うことができる。			
活用場面	並行読書 終末			
活用の仕方	1 「きつつきの商売」の学習での読み方を生かして、読書を広げる意識をもたせる。 2 関連図書を読み、登場人物の気持ちを考え、伝え合う。			
参考図書	・風の草原 (6648) ・キツネのまいもん屋 (8054) ・あらしのよるに (4269)			
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型	○ 発展型
				表現型

3年	国語	4月	単元名『図書館たんていだん』	1 / 1
ねらい	読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。			
活用場面	展開で地域や学校の図書館の役割や工夫に調べる場面で			
活用の仕方	上記同様			
参考図書	楽しい読書のための本 (水野寿美子 ポプラ社 3233) 図書館のしくみ (紺野順子 ポプラ社 3231) 図書館ってなんだろう (笠原良郎 ポプラ社 3230)			
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○ 発展型
				表現型

3年	国語	4月	単元名『国語辞典を使おう』	1～2 / 2
ねらい	辞書の使い方を理解し使うことができる。			
活用場面	教科書での見出し語の見つけ方にそって調べ学習を行う際			
活用の仕方	見出し語の見つけ方にそって、調べたい言葉を辞典を使って探すときに使う。			
参考図書	小学新国語辞典 (甲斐睦郎 光村教育図書 7762)			
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○ 発展型
				表現型

3年	国語	4月	単元名『春のくらし』				1 / 1	
ねらい	語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。							
活用場面	春の情景、行事、言葉を探す場面で							
活用の仕方	積極的に語句の量を増やし、学習課題に沿って、その季節らしさを表現した文章を書く際に使う。							
参考図書	ねんてん先生の俳句の学校1（教育画劇 坪内稔典 5513） 和の行事えほん～春と夏の巻～（高野紀子 あすなろ書房 7104） ことばの絵事典①季節・暦・くらしのことば（4879） はじめてであう俳句の本 春の句（2702）							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型		発展型		表現型	○

3年	国語	5月	単元名『漢字の音と訓』				2 / 2	
ねらい	音読みと訓読みが分かり、第3学年までに配当されている漢字を読むことができる。							
活用場面	音訓の読み方の違いについて調べる際に							
活用の仕方	P148「これまでに習った漢字」や国語辞典などを使って、音訓クイズを作り出す際使う。							
参考図書	漢字のよみかた 漢字の音と訓（下村昇 小峰書店 4099） 小学生のまんが漢字辞典（加納喜光 学研 7312 ※P 24 参照） 小学新国語辞典（甲斐睦郎 光村教育図書 7762）							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○	発展型		表現型	

3年	国語	5月	単元名『言葉で遊ぼう／こまを楽しむ』				1～2 / 9	
ねらい	段落の役割について理解することができる。また、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。							
活用場面	展開・終末							
活用の仕方	1 言葉遊びについての説明文の学習をする。「しゃれ・回文・アナグラム」について知る。 2 「例文の他にどんな回文があるのだろうか？文の長いものもあるのかな？本で調べてみよう。」							
参考図書	・ことば遊びチャレンジ20（8035） ・だじゃれ すいぞくかん（4487） ・だじゃれ どうぶつえん（6274） ・サカサカぞくのだんながなんだ（8333） ・ことば遊びチャレンジ20（8035）							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○	発展型	○	表現型	

3年	国語	5月	単元名『言葉で遊ぼう／こまを楽しむ』	9 / 9				
ねらい	段落の役割について理解することができる。また、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。							
活用場面	終末							
活用の仕方	1 段落とその中心をとらえて読み、感想を伝え合う学習をする。 2 昔から伝わる遊びについて書かれた本を読み、どんな遊びがあり、どんな楽しみ方があるのかを知る。							
参考図書	・すてきな日本の伝統①いろいろあそび (8052) ・昔の子どものくらし事典 (7427)							
活用分類	興味・関心喚起型	<input type="radio"/>	理解型	<input type="radio"/>	発展型	<input type="radio"/>	表現型	<input type="radio"/>

3年	国語	6月	単元名『まいごのかぎ』	全 / 6				
ねらい	登場人物の気持ちの変化や性格、情景を捉えて想像し、感想を書くことができる。							
活用場面	並行読書 終末							
活用の仕方	1 様子や気持ちを表す言葉に気をつけて読み、登場人物の変化などを捉え、感想をまとめる。 2 不思議なことがおこる物語を読んで、感想を交流し合う。							
参考図書	・カモメがくれた三かくの海 (7024) ・おばけ美術館へいらっしゃい (7023) ・とくんととくん (8060) ・白樺のテーブル (7428) ・雪窓 (6478) ・きつねの窓 (6479) ・きつねのかみさま (4695)							
活用分類	興味・関心喚起型	<input type="radio"/>	理解型	<input type="radio"/>	発展型	<input type="radio"/>	表現型	<input type="radio"/>

3年	国語	6月	単元名『俳句を楽しもう』	1 / 1				
ねらい	易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。							
活用場面	授業の展開段階で							
活用の仕方	教科書の短歌・俳句の情景が思いうかばない児童に対して、解説文を読ませることでイメージをもたせる。							
参考図書	俳句に親しもう (神野紗希 金の星社 7316) ねんてん先生の俳句の学校1 (教育画劇 坪内稔典 5513) ことばの絵事典①季節・暦・くらしのことば (4879) はじめてであう俳句の本 夏の句 (2703)							
活用分類	興味・関心喚起型	<input type="radio"/>	理解型	<input type="radio"/>	発展型	<input type="radio"/>	表現型	<input type="radio"/>

3年	国語	7月	単元名『仕事のくふう、見つけたよ』	全 / 12				
ねらい	角内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。							
活用場面	導入 展開							
活用の仕方	1 身の回りにある仕事の中から、自分が調べたい仕事を選ぶ。 2 仕事について書かれている本を手がかりにして調べる。							
参考図書	・ただいまお仕事中 (7004) ・21世紀こども百科しごと館 (5520) ・まんがで読む仕事ナビ①～⑧ (4490～4497)							
活用分類	興味・関心喚起型	<input type="radio"/>	理解型	<input type="radio"/>	発展型	<input type="radio"/>	表現型	<input type="radio"/>

3年	国語	7月	単元名『夏の暮らし』	1 / 2				
ねらい	語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。							
活用場面	夏の情景をイメージさせたり、夏の言葉を集める際に							
活用の仕方	学習課題に沿って、夏らしさを表現した文章を書く際に使う。							
参考図書	ねんてん先生の俳句の学校1 (教育画劇 坪内稔典 5513) 和の行事えほん～春と夏の巻～ (高野紀子 あすなろ書房 7104) ことばの絵事典①季節・暦・くらしのことば (4879)							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型		発展型		表現型	○

3年	国語	7月	単元名『はじめて知ったことを知らせよう』	全 / 6				
ねらい	幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。							
活用場面	導入 展開							
活用の仕方	1 読書により、自然や生活、社会についての新しい知識や知らなかった考え方に会えることを伝える。 2 図鑑や科学読み物などから興味関心をもった本を選ぶ。							
参考図書	・図鑑NEO植物 (6925) ・図鑑NEO動物 (6924) ・じしゃくのふしぎ (7055) ・図鑑NEO科学の実けん (7368) ・さかなのかたち (7276) ・どうぶつのあしがたずかん (5599)							
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型	○	発展型		表現型	

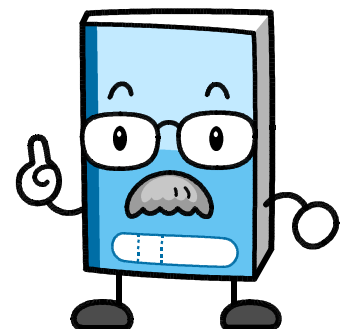
3年	国語	9月	単元名『わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる』	1 ~ 2 / 2				
ねらい	文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。							
活用場面	それぞれの詩について同一作者の他の詩を読み比べる際に							
活用の仕方	上記同様							
参考図書	阪田寛夫童謡詩集 夕日がせなかをおしてくる (北川幸比古 岩崎書店 7849) 金子みすず童謡集 私と小鳥とすずと (矢崎節夫 JULA 出版局 6487)							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○	発展型		表現型	

3年	国語	9月	単元名『へんとつくり』	2 / 2				
ねらい	漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解することができる。							
活用場面	展開で教科書以外の漢字のへんやつくりについて調べる場面で							
活用の仕方	上記同様							
参考図書	へんとつくりってなに? (下村昇 小峰書店 4101)							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○	発展型	○	表現型	

3年	国語	9月	単元名『ちいちゃんのかげおくり』	全/10				
ねらい	本作品の時代背景をとらえ、情景や登場人物の心情を深く感じさせ、学習内容をより深化させる。							
活用場面	並行読書 終末							
活用の仕方	関連のある物語等を並行読書させることによって、戦争時代の町の様子や生活の様子、人々の苦しみ等をより深くより広く学ばせる。							
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ちいちゃんのかげおくり (2485) ・おはじきの木 (6238) ・はらっぱ (7727) ・おとなになれなかった弟たち (3780) ・えんぴつびな (7277) ・かわいそうなぞう (6244) ・ヒロシマ消えたかぞく (8183) ・おかあさんの木 (7098) ・おかあさんの紙びな (6263) ・8月6日のこと (7247) 							
活用分類	興味・関心喚起型	<input type="radio"/>	理解型	<input type="radio"/>	発展型	<input type="radio"/>	表現型	<input type="radio"/>

3年	国語	10月	単元名『修飾語を使って書こう』	2/2				
ねらい	修飾語の役割について理解することができる。							
活用場面	展開・終末							
活用の仕方	<ol style="list-style-type: none"> 1 修飾語について学習する。 2 「修飾語がかわると、様子もかわって面白い。いろいろな言葉（修飾語）を調べてみたい。」 							
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばがいっぱい言葉図鑑③かざることばA (7903) ・ことばがいっぱい言葉図鑑③かざることばB (7904) ・小学生のまんが言葉のきまり辞典 (学研 金田一秀穂 7310) 							
活用分類	興味・関心喚起型	<input type="radio"/>	理解型	<input type="radio"/>	発展型	<input type="radio"/>	表現型	<input type="radio"/>

3年	国語	10月	単元名『秋の暮らし』	2/2				
ねらい	秋の行事に興味をもち、それに関わる語句を増やすことができる。							
活用場面	「○○の秋」という題名で、絵と文章を書く場面で							
活用の仕方	○ 秋らしい様子について子どもがイメージをもてなかったり、自分の思い描く情景にぴったりの言葉が出てこないときに図書を活用する。							
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ねんてん先生の俳句の学校3 (教育画劇 坪内稔典 5515) まんがでわかる日本の古典 (学研まんが 吉野朋美 7315) 和の行事えほん～秋と冬の巻～ (高野紀子 あすなろ書房 7105) ことばの絵事典①季節・暦・くらしのことば (4879) はじめてであう俳句の本 秋の句 (2704) 							
活用分類	興味・関心喚起型	<input type="radio"/>	理解型	<input type="radio"/>	発展型	<input type="radio"/>	表現型	<input type="radio"/>



3年	国語	11月	単元名『すがたを変える大豆』※複合単元	9～12/14				
ねらい	目的に適した事例を複数挙げながら、説明する文章を書くことができる。							
活用場面	「〇〇の秋」という題名で、絵と文章を書く場面で							
活用の仕方	「食べ物のひみつを分かりやすくせつめいする文章を書く」という目的で、「米」「麦」「とうもろこし」「牛乳」「魚」「いも」の本の中から選ぶ。							
参考図書	すがたをかえる米・麦①～⑦（幕内秀夫 学研 5487） たべもの（無藤隆 フレーベル館 7018） おもしろふしぎ日本の伝統食材 いわし（おくむらあやの 7450） こどものずかん10 たべもの（ひかりのくに 7898） すがたをかえる食べものずかん（8231）							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○	発展型	○	表現型	

3年	国語	11月	単元名『ことわざ・故事成語』	3～4/4				
ねらい	ことわざの意味を国語辞典やことわざの本を使って調べることができる。							
活用場面	教科書以外のことわざや故事成語を調べる場面で							
活用の仕方	友達や家族にお勧めしたいことわざパンフレットを作るために、日常生活でよく使用されることわざを調べる際に使う。							
参考図書	小学生のまんが ことわざ辞典（金田一春彦 学研 7308） ことわざ絵本（五味太郎 岩崎書店 5848） ことわざ慣用句辞典（7089） 変なことわざ図鑑（7535） まんが慣用句辞典（7307） ちびまるこちゃんのことわざ教室（6206） ドラえもん国語おもしろ攻略 慣用句びっくりことば事典（6757）							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○	発展型	○	表現型	

3年	国語	11月	単元名『短歌を楽しもう』	1/1				
ねらい	易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。							
活用場面	教科書の短歌を音読して解説文を読んだ後の場面で							
活用の仕方	短歌の解説文を読んでも情景のイメージがわからないときに使う。							
参考図書	ねんてん先生の俳句の学校3（教育画劇 坪内稔典 5515） 和の行事えほん～秋と冬の巻～（高野紀子 あすなろ書房 7105） 短歌に親しもう（7317） 俳句・短歌をつくろう（7318） ことばの絵事典①季節・暦・くらしのことば（4879）							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型		発展型		表現型	○

3年	国語	11月	単元名『三年とうげ』	全／7				
ねらい	組み立てに着目して読み，登場人物の変化を捉える。自分が読んだ民話や昔話について，面白さなどを紹介する。							
活用場面	並行読書 終末							
活用の仕方	1 登場人物の行動や様子や組み立てから，登場人物の変化を読み取る。 2 自分が読んだ民話や昔話について，登場人物や出来事，面白かったことなどをまとめて紹介する。							
参考図書	・世界のむかしばなし (7278) ・くいしんぼうシマウマ (7028) ・シンドバッドの冒険 (7027) ・天の火をぬすんだウサギ (7026)							
活用分類	興味・関心喚起型	<input type="radio"/>	理解型	<input type="radio"/>	発展型	<input type="radio"/>	表現型	

3年	国語	12月	単元名『冬の暮らし』	2／2			
ねらい	語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，語彙を豊かにすることができる。						
活用場面	自分が見つけた冬について詩に表す場面で						
活用の仕方	冬にまつわる行事や言葉が見つからないとき，冬の情景をイメージできないときに活用する。						
参考図書	ねんてん先生の俳句の学校2 (教育画劇 坪内稔典 5514) 和の行事えほん～秋と冬の巻～ (高野紀子 あすなる書房 7105) ことばの絵事典①季節・暦・くらしのことば (4879)						
活用分類	興味・関心喚起型	<input type="radio"/>	理解型	<input type="radio"/>	発展型	<input type="radio"/>	表現型 <input type="radio"/>

3年	国語	1月	単元名『詩のくふうをたのしもう』	2／4			
ねらい	文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもつことができる。						
活用場面	教科書以外の詩で視覚的工夫，リズムや語感の響きなどの工夫を味わわせる場面で						
活用の仕方	教科書以外の詩をたくさん味わわせ，視覚的な詩の楽しさ，言葉の響きのよさが表れる詩を作る際のヒントになるように読ませる。						
参考図書	あそぶ詩きこえる詩 (はせみつ子 富山房 5845)						
活用分類	興味・関心喚起型	<input type="radio"/>	理解型	<input type="radio"/>	発展型	<input type="radio"/>	表現型 <input type="radio"/>

3年	国語	1月	単元名『ありの行列』	7／7			
ねらい	事柄や説明のつながりを表す言葉に気をつけて読み，読んだ感想を交流することで，自分と同じ点や違う点を見つけることができる。						
活用場面	終末						
活用の仕方	1 「ありの行列」の感想を交流し合う。学習をまとめる。 2 科学読み物を読み，虫や植物などのさまざまな不思議を知る。						
参考図書	・なぜ？ どうして？ 科学のお話3年生 (8238)						
活用分類	興味・関心喚起型	<input type="radio"/>	理解型	<input type="radio"/>	発展型	<input type="radio"/>	表現型

3年	国語	3月	単元名『モチモチの木』	12 / 12				
ねらい	性格や気持ちを表す言葉に着目しながら読み、「豆太」について考えたことを友達と交流し合い、考えを深める。							
活用場面	終末							
活用の仕方	1 学習を通して、豆太について考えたことを交流し合う。(まとめ) 2 作者の斉藤隆介さんの書いた他の本から、登場人物がどのような性格に描かれているのか読んでみる。							
参考図書	・ソコメとオニ (6248) ・花さき山 (6255) ・半日村 (6250)							
活用分類	興味・関心喚起型	<input type="radio"/>	理解型	<input type="radio"/>	発展型	<input type="radio"/>	表現型	<input type="radio"/>

